

検証

どうなった

あの一一般質問の行方は^{ゆくえ}

くにの松原に集合施設の建設はできないか

くにの松原キャンプ場一帯に、年間を通じて50～60人程度の会議等ができるレストハウスの機能を備えた集合施設の建設は出来ないのか。

平成16年6月定例会
中山 美幸議員質問

町長答弁

施設は必要と認識

恵まれた温暖な気候、自然を生かし青少年研修、アスリート研修、スポーツ選手の合宿の場としての宿泊、研修など一体的にやるには当然求められ、施設は必要と認識しております。

どうなった

こうなりました

くにの松原の豊かな自然環境は、大崎町のみならず大隅半島の財産でもあります。このようなことからスポーツと観光という視点で、トレーニングや競技の場、研修の場としての総合型スポーツ施設の建設構想が進みつつあり、この構想の中に取り入れたいと考えます。

「子ほめ条例」の制定は

子どもたち一人ひとりのいい点を見つけ、目立たない子どもが陰で努力しているのを表にだしてほめてあげたいのだが「子ほめ条例」の制定はできないか。

平成16年9月定例会
上原 正一議員質問

町長答弁

検討する機会を作りたい

子ども達をほめて育てようという条例が少子化の進む町などで広がっている。「ほめ方」はむしろ課題も多い。今後、学校現場と検討する機会を作りたい。

どうなった

こうなりました

「子ほめ条例」の制定はいたしません。 「大崎町教育委員会表彰規定」の表彰基準の中にある「善行児童生徒及びその団体」の項目を活かし、学校長からの推薦により、教育委員会で審査し、表彰するなど「子ほめ条例」の趣旨に沿ったものとして、この表彰規定を運用していきます。

過去の定例会での一般質問の中から一部をピックアップして、その後、どのように町政に反映されたかを検証します。